

三井住友海上火災保険株式会社

広報部 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-9
TEL: 03-3259-3111(代表)
www.ms-ins.com

2016年12月8日

～国内損保初！NASA等の衛星観測データ活用による新展開～

衛星観測データを活用した「天候デリバティブ」の世界販売について

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：原典之）は、12月から、国内損保として初めて、NASA等の衛星観測データを活用した「天候デリバティブ」の世界販売を開始します。

近年、世界的な気候変動の進展に伴い、海外進出企業を中心に天候リスクのヘッジニーズが高まっています。当社は、世界の天候リスクを扱う100%子会社「MSI Guaranteed Weather社（米・カンザス州、以下「MSIGW社」）を通じ、北米・欧州等で天候デリバティブを販売してきましたが、今般、お客さまの事業拠点ごとのリスク実態に合わせた商品を開発すべく、NASA等の衛星観測データを活用する体制を整えました。これにより、精緻な地上観測データが取得できないなどの理由から、従来は引き受けが困難であった地域においても、天候デリバティブの提供が可能になりました。

三井住友海上では、アジア・南米・オセアニアなどを含む、全世界における天候デリバティブの販売を通じて、企業のお客さまの海外進出を支援していきます。

1. 天候デリバティブの概要

お客さまとMSIGW社（※）との間で、天候リスクのヘッジを目的としたデリバティブ取引を行います。

※2007年に設立した当社の100%出資子会社。気象学に基づく知見を活かし、北米・欧州を中心に天候デリバティブや天候指数保険を販売しています。

**2. 想定される主な活用例**

- (1) 鉱山開発事業：降雨による工期遅延リスクのヘッジ
- (2) 養殖事業：海水温上昇による生育不良リスクのヘッジ
- (3) 電力小売業：猛暑・冷夏による販売変動リスクのヘッジ など

3. 背景と目的

企業活動に関わる天候リスクは、降雨による工期遅延リスクや海水温上昇による生育不良リスクなど、業種ごとにさまざまです。企業の海外進出が進むにつれ、世界中で天候リスクへの備えが求められるようになりましたが、「観測地点が遠方にあるため、精緻な商品設計が困難」「既存の指標では対応できない」「データが計測されておらず、商品設計ができない」などの理由から、これまでは日本国内や北米、欧州での引き受けが中心でした。

そこで、多様化するお客さまニーズに応えるため、NASA等の衛星による「物を触らずに調べる技術（リモートセンシング）」を活用した引受体制を整え、日系の海外進出企業等を対象に天候デリバティブを全世界で販売することとしました。

以上

添付別紙：MSIGW社の概要

MSIGW社の概要

名 称 : MSI GuaranteedWeather, LLC (MSIGW)

所 在 地 : 米国カンザス州カンザス・シティ

事業内容 : 天候リスク・ポートフォリオのマネジメント

沿 革 :

2001年4月	三井住友海上が米国のエネルギー会社であるアクアイラ社との提携を開始。
2003年4月	アクアイラ社の天候事業をヘッジファンドが買収し、GuaranteedWeather (GW) 社が発足。三井住友海上との提携を引き続き維持。
2007年4月	三井住友海上がMSIGW社を設立し、GW社から天候ビジネスを事業買収。

そ の 他 : GW社およびMSIGW社は、英国の月刊誌「Environmental Finance」誌主催の「天候デリバティブ部門におけるアジア最優秀ディーラー」を2004年、2005年、2009年、2010年の過去4回受賞しています。

以 上